

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	係長	主査	担当							文書取扱主任		

## 第 24 回 総務文教常任委員会 会議録

開催年月日	平成 29 年 6 月 20 日 (火曜日)	開会 15 時 00 分	閉会 15 時 13 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	関藤、安樂、清水、本間、渡邊、柴田 議長	事務局	竹谷事務局長 菊田次長 藤井書記
欠席委員			
説明員			
議 件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 調査事項について		
	次の事項について委員長が説明し、質疑を行い、確認済みとした。		
	(1) 所管事務調査について (総務文教常任委員会意見交換会)		
	2 その他について		
	なし。		
	3 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することとした。		
	上記記載のとおり相違ない。 総務文教常任委員長 関藤 龍也 ㊦		

第24回 総務文教常任委員会

日 時 平成29年6月20日(火)  
本会議終了後  
場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 調査事項について

（1）所管事務調査について（総務文教常任委員会意見交換会）（資料）

2 その他について

3 次回委員会の日程について

○ 閉 会

## 第24回 総務文教常任委員会

H29.6.20 (火)15:00～

第一委員会室

開 会 15:00

委員長 ただいまから第24回総務文教常任委員会を開会します。

### 委員動静報告

委員長 委員動静につきましては、全員出席、議長の出席をいただいております。館内議員、木下議員、東元議員の傍聴を許可します。報道として北海道新聞の傍聴を許可します。

### 1 調査事項について

#### (1) 所管事務調査について（総務文教常任委員会意見交換会）

委員長 各常任委員会が外に出て、いろいろな意見交換をするということが議会改革特別委員会の議論として進んでおりますが、まだ確定的なものではございません。そこで、議会事務局とも話をしまして、総務文教常任委員会が先に意見交換会をするということで、特別委員会の内容とは切り離して、先行的にやってみようということです。まず年内に意見交換会を開催するかどうかをご審議いただいて、もし開催してみようということになれば、どういった団体と意見交換するかということをお次回の常任委員会までに皆さんに試案していただき、そこでまた議論して決定していこうかと考えております。まず、1点目に意見交換会を年内に行ってみることに關してご意見をいただきたいと思ひます。

本 間 議会改革特別委員会の委員として、こういった意見交換会について審議していた経過もありますので、こちらでも意見を言わせていただきたいと思ひます。まず、時期と団体を決めるというのは、順序が逆ではないかと思ひます。要するに調査事項が重要であると、例えば複合施設を研究しているので、その関係者だとか団体に手を挙げてもらって調査するとか、今回柴田委員からも質問がありました、学校の改築についてに絞るとか、ただ陳情を受けるだけのものにはしないほうがいいだろうと。テーマをしっかりとってそれに応じたものにする必要があると。だとしたら、必要とされるタイミングがあるはずで、必ずしも今回と次回の委員会で決めるということは、行わないほうがいいのではないかと思ひます。ただ、意見交換会を行う必要はあると思ひています。

清 水 議会改革特別委員会の委員長としての立場もありますが、今は、制度化することを特別委員会では議論していますが、もともと常任委員会として意見交換会を行うことができますし、既に他の特別委員会で意見交換会が行われていますので、進めるべきだと思ひます。本間委員が言われたように、時期よりもテーマ、皆さんが一致できるようなものではなくてはならないし、必要だということが確認されて、それからどのような団体かとなっていくと思ひますので、次の委員会までに、各議員のこれを実現したいという熱い思いを發表していただく、そのような方向で参加したいと思ひます。

柴 田 少し整理していかないといけないかと思ひるところがあつて、特別委員会として議論がまだ途中で、結論はこれから出していくのだと思ひますが、特別委員会で移動常任委員会と言われているものと、総務文教常任委員会の移動委員会というものは、イコールではないと思ひます。ただ、総務文教常任委員会が移動委員会を行ったとして、それが前例となつてしまひ議論を制約してしまうだとか、特別委員会として今やろうとしているものの方向性が全く違つてしま

ったときの特別委員会側の今後の議論の持ち方というのが、難しくなるのではないかという思いがあるのです。そこら辺をせつかく特別委員会の委員長がいるので、確認したいと思います。

本 間  
清 水

移動委員会ではなく、意見交換会かと思います。

柴田委員の言われたご懸念については、私もこれからどういったことがあるかわかりませんが、特別委員会の議論に影響を与えていくと。しかし、それは悪い影響ではないと思いますし、もともとできることであって、委員長からの積極的なご提案ですから、特別委員会の委員長としては問題ないと思います。

渡 邊

意見交換会そのものを開催することは賛成です。ただ、閉会中の調査事項をみるとほとんどが行政に絡んだ部分で、民間団体も補助金をもらっている団体やいろんな団体がありますが、補助金を受けている団体と行うというのはどうなのかと。意見交換会を行うのはいいのですが、補助金等で市とのかかわりが強い団体と委員会が果たしてそこで適切な意見交換ができるのかという懸念があります。

委 員 長

今、渡邊委員が言われた内容につきましては、この場ではなく団体を決めるなどの具体的な議論のときになると思います。今回、積極的に提案させていただいたのは、私が1期目のときに地域経済活性化議員連盟が2、3回で終わってしまっている経緯があり、前期も会派での意見交換会という名のもとに行いましたが、聞きっぱなしで終わっているというような経緯もあって、さらに今、特別委員会で正式に進んでいることもあり、そこで総務文教常任委員会としても正式に意見交換会をしませんかというご提案です。先ほど本間委員が言われたように、時期や団体というのはこれからいろいろなテーマを考えて、どういった内容で議論したいのかということの意見を出し合っていきたいと思います。その内容が年内に固まらなければ、次年度にということにもなろうかと思いません。基本的に、意見交換会をまずはやってみるということについてのご賛同はいただけるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

そうしましたら、時期はいつになるかわかりませんが、この総務文教常任委員会でどういったテーマで意見交換会を行うのかということにつきましては、また正副委員長と調整しまして、皆さんと積極的な意見交換をしていきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

## 2 その他について

委 員 長

委員から何かありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

事務局から何かありますか。

(なしの声あり)

## 3 次回委員会の日程について

委 員 長

次回の委員会の日程につきましては、正副委員長に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

以上をもちまして第24回総務文教常任委員会を閉会します。

閉 会 15:13